



2025年3月5日

各位

会社名 株式会社 ジーニー
代表者名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問合せ先 上級専門執行役員(CFO)兼 菊川 淳
投資戦略部部長
(TEL. 03-5909-8177)

グループ会社JAPAN AI株式会社が提供する AI議事録ツール「JAPAN AI SPEECH」が日本語文字起こし機能の精度99%を実現

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下、当社）のグループ会社であるJAPAN AI株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下、JAPAN AI）は提供するAI議事録ツール「JAPAN AI SPEECH」の文字起こし機能を強化し、99%の精度（自社調べ）を実現したことをお知らせいたします。

1. 背景

業界用語や社内用語などの特殊な単語は、正確に文字起こしすることが難しく、追加学習によって精度を向上させる必要があります。しかし、学習する単語の数が増えすぎると、これまで正しく認識できていた単語を誤って読み取るケースが発生します（これを過学習と呼びます）。この問題により、文字起こしの精度を一定以上に高めることが困難でした。

そこで、今回のアップデートでは、学習する単語数が増えても過学習のリスクを抑えられる仕組みを開発・実装しました。これにより、より多くの単語学習が可能となり、さらに高精度な単語認識を実現しています。

2. 概要

「JAPAN AI SPEECH」は、日本語の高精度文字起こしを特徴とするAI議事録ツールです。2024年3月に導入された単語学習機能（ファインチューニング機能）により、専門用語や社内用語を含む音声でも90%以上の精度を達成し、さらに今回の機能強化により99%の精度（自社調べ）を実現しました。

文字起こし精度の検証は、Google MeetでのJAPAN AIユーザー向け生成AI勉強会の録画（44分48秒）を用い、新旧の単語学習機能を同一データに適用して比較し、複数の音源を使用して再現性を確認しました。特筆すべきは、追加学習が音声データを用いずテキスト情報のみで行われるため、ユーザーの利便性を損なうことなく高精度を実現している点です。この成果は、JAPAN AIが掲げる「日本企業の生産性向上」に寄与するものと考えています。

今後も文字起こし精度の向上に向けた研究開発を続け、他のツールとの連携を強化し、さらなる利便性の向上を目指します。

3. JAPAN AI について

JAPAN AI は「企業が 1 社に一つオリジナルの AI を持つ時代を創る。AI は働く人をサポートし、圧倒的な生産性を実現する。」というビジョンを掲げ、最新の AI 技術を活用したプロダクトやサービス提供により、多様な業界での事業拡大や産業の発展に貢献していきます。

URL : <https://japan-ai.co.jp/>

4. 今後の見通し

本件による、当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。